

図書館総合展2025 ニチマイオンラインフォーラム
武蔵野ふるさと歴史館 知覧特攻平和会館
株式会社ニチマイ

Nichimy
明日を創る、昨日を活かす

戦後80年 米国資料から視る

2025

11.18(火)

10:00-11:00 LIVEにて開催!

再放送:

11月20日(木)~2026年1月5日(月)

※YouTubeにて



いずれもお申し込みが必要です。
(参加無料)

お申し込みは、左のQRコード、
図書館総合展の当フォーラムページ
ニチマイデジタルサイトからどうぞ!
お申し込み後URLをご案内いたします。

2025年の今年は、戦後80年という節目の年にあたります。

これまで当社では、米国国立公文書館をはじめ、米国、イギリス、オーストラリアなどで資料の調査・収集を行ってまいりました。

今回のフォーラムでは、米国の資料を通じて戦後80年を振り返る試みを行います。終戦直後の人々の様子、占領下での暮らし、そして日米間の異文化理解に関する資料を紹介し、解説を加えながら、戦後の歩みをたどります。

また、知覧特攻平和会館の八巻様、武蔵野ふるさと歴史館の高野様にインタビューを行い、それぞれの視点から「戦後80年」への思いを語っていただきました。

敗戦の苦しみから始まった80年の歴史の中で、米国との異文化交流を通じて学んだことも多くありました。

「相手を知ること」の大切さを、資料を通して改めて感じていただければ幸いです。

過去の足跡を知ることで、これから私たちがどう行動していくかを考える一つの機会となることを願っています。

●インタビュー



八巻 聡(やまき さとし)

知覧特攻平和会館

学芸員

千葉県船橋市出身

2003年(平成15年)より知覧特攻平和会館に勤務。知覧飛行場の調査、戦争体験者への聞き取り、資料収集など、太平洋戦争末期に行われた沖縄戦における陸軍特攻の調査研究を行っている。



高野 弘之(たかの ひろゆき)

武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館

公文書専門員

国立ハンセン病資料館、埼玉県立文書館等を経て平成29年から現職。国立公文書館認証アーキビスト(令和2年度)。公文書館機能にかかる専門業務を担当し、市域に存在していた中島飛行機武蔵製作所に関係する資料の調査・研究、活用事業に従事。

●登壇者



長坂 マイヤーズ 陽子(ながさか マイヤーズ ようこ)

株式会社ニチマイ 米国事務所

シニアリサーチャー

ニチマイ入社以来、米国国立公文書館をベースとして、20年間、第2次世界大戦、太平洋戦争関係、日米関係、アジア関係ほかのさまざまな資料調査収集プロジェクトを担う。全米の資料館及び他国の公文書館でも調査経験あり。米国在住29年。

●スタッフ

ファシリテーター/石川清美(サービス事業開発部)

ディレクター/池上孝史(営業部) インタビュアー/工藤元(営業部)

イベントサポート/雪母恭生 赤井美奈 色摩なつみ(営業部)



お申し込みは、左のQRコード、
図書館総合展の当フォーラムページ
ニチマイウェブサイトからどうぞ!



株式会社ニチマイ

<https://digiaka.nichimy.co.jp/>



0120-588349

戦後80年 米国資料から視る

2025
11.18(火)
10:00-11:00 (LIVE)

再放送:

11月20日(木)~2026年1月5日(月)

※YouTubeにて

いずれもお申し込みが必要です。

(参加無料)



Hibiya Street on Avenue, "A" in the center of Tokyo, Japan, showing the Dai Ichi Building on the right, which houses General Headquarters, Far East Command, and Imperial Moat surrounding the Imperial Palace, on the left. 8/9/1947. No. C-4697. Box 34. RG111CPF, Records of the Chief Signal Officer General Photographic File Color Print File 1944-1954.

「日本の東京の中心地にあるAアベニューの日比谷通り。右側は、極東軍総司令部が入った第一ビルであり、左側は皇居を取り囲む堀である。」米国国立公文書館所蔵